



令和7年4月24日

各位

会社名 株式会社きんえい  
代表者名 取締役社長 作田 憲彦  
(コード番号 9636 東証スタンダード市場)  
問合せ先 常務取締役総務部長 山野 貴生  
(TEL 06-6632-4551)

### 支配株主等に関する事項について

当社の支配株主等に関する事項は、以下のとおりとなりますので、お知らせいたします。

#### 1. 親会社、支配株主（親会社を除く。）又はその他の関係会社の商号等

(令和7年1月31日現在)

名称	属性	議決権所有割合 (%)			発行する株券が上場されている金融商品取引所等
		直接所有分	合算対象分	計	
近鉄グループホールディングス株式会社	親会社	6.0	57.0	63.0	株式会社東京証券取引所 プライム市場
近畿日本鉄道株式会社	その他の 関係会社	46.6	—	46.6	—

(注) 近畿日本鉄道株式会社は、近鉄グループホールディングス株式会社はその議決権100%を保有しております。そのため、近畿日本鉄道株式会社の直接保有分は、全て近鉄グループホールディングス株式会社の合算対象分であります。

#### 2. 親会社等のうち、上場会社に与える影響が最も大きいと認められる会社の名称及びその理由

名称	理由
近鉄グループホールディングス株式会社	同社は、近鉄グループの持株会社であり、近畿日本鉄道株式会社は同社の完全子会社であります。同社は近畿日本鉄道株式会社に支配力を有しているため、影響が最も大きいと認められます。

#### 3. 親会社等の企業グループにおける上場会社の位置付けその他の上場会社と親会社との関係

近鉄グループは当社の親会社（議決権所有割合63.0%（間接所有を含む））であります近鉄グループホールディングス株式会社及びその関係会社で構成され、運輸業、不動産業、国際物流業、流通業、ホテル・レジャー業等を営んでおり、当社はその一員として、劇場・娯楽場、賃貸ビルディング及び付帯事業の経営等の事業を行っております。

当社と親会社との間にはCMS（キャッシュ・マネジメント・システム）にかかる資金の貸付等の取引があります。

また、令和7年4月24日現在、親会社等の取締役1名及び監査役1名が当社の取締役及び監査役をそれぞれ兼任しているほか、親会社からの出向者1名が当社の取締役に就任しておりますが、事業活動上の制約はなく、経営判断においては自主独立が尊重されております。なお、取締役及び監査役の兼任の状況は以下のとおりであります。

(令和7年4月24日現在)

役 職	氏 名	親会社等における 役 職 等	就 任 理 由
取締役（非常勤）	都 司 尚	近鉄グループホール ディングス株式会社 取 締 役 会 長 近畿日本鉄道株式会社 取 締 役	会社経営についての経験と知識が豊かであることから、幅広い見地から示される意見を会社経営に反映させるとともに、経営監督機能を強化するために適任であるため
監査役（非常勤）	中 村 哲 夫	近鉄グループホール ディングス株式会社 常 勤 監 査 役 近畿日本鉄道株式会社 監 査 役	親会社等の要職にあり、また経理業務に精通していることから、会社経営の監督機能を強化するために適任であるため

#### 4. 支配株主等との取引に関する事項

令和7年4月23日に提出しました「第128期 有価証券報告書」の【関連当事者情報】をご参照ください。

#### 5. 支配株主との取引等を行う際における少数株主の保護の方策の履行状況

当社は親会社以外の少数株主の利益を保護するために、親会社との間の通例的でないとは判断できる取引については、取締役総数6名のうち一般株主と利益相反が生じるおそれのない独立社外取締役2名が参加する取締役会において慎重に検討を行うこととし、さらに個別注記表に記載する親会社との取引については当該取引が当社の利益を害さないかどうかについて取締役会が判断することとしております。

なお、当社は、親会社との間でCMS（キャッシュ・マネジメント・システム）による資金の貸し付けなどの取引を行っております。その取引条件はCMSにかかるものであり、貸付金利息は市場金利を勘案して合理的に決定しており、当社は当該取引により相応の利益を得ておりますので、取締役会は、当該取引は少数株主の利益を害しないと判断しております。

以 上